三好達治『大阿蘇』テスト対策練習問題と過去問まとめ

年	組	番	名前

次の詩について、問に答えなさい。

『大阿蘇』

雨の中に　馬がたっている
一頭二頭子馬をまじえた馬の群れが　雨の中にたっている
雨は蕭々（しょうしょう）と降っている
馬は草をたべている
尻尾も背中も鬣（たてがみ）も　ぐっしょりと濡れそぼって
彼らは草をたべている
草をたべている
あるものはまた草もたべずに　きょとんとしてうなじを垂れてたっている
雨は降っている　蕭々と降っている
山は煙をあげている
中岳（なかだけ）の頂きから　うすら黄いろい　重っ苦しい噴煙が濛々（もうもう）とあがっている
空いちめんの雨雲と
やがてそれはけじめもなしにつづいている
馬は草をたべている
草千里浜（くさせんりはま）のとある丘の
雨に洗われた青草を　彼らはいっしんにたべている
たべている
彼らはそこにみんな静かにたっている
ぐっしょりと雨に濡れて　いつまでもひとつところに　彼らは静かに集まっている
もしも百年が　この一瞬の間にたったとしても　何の不思議もないだろう
雨が降っている　雨が降っている
雨は蕭々と降っている

問1　この詩の作者を漢字で答えなさい。

© ゆみねこの教科書

問2　この詩の形式（種類）を、漢字五字で書きなさい。

問3　この詩のように、風景や自然の景色（情景）を描くことで、作者の感動を伝える詩のことを何というか。漢字三字で書きなさい。

問4　この詩の中で何度も使われている、同じ言葉や言い回しを繰り返してリズムを作ったり印象を強くする表現技法を漢字三字で書きなさい。

問5　「雨の中に　馬がたっている」などの文末にある「～ている」の反復は、この詩にどのような効果（印象）をもたらしているか。最も適切なものを次の中から一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：目の前の光景が次々と新しく変わっていく様子を表す効果。
イ：今の静かな状態が、いつまでも変わらずに永遠に続くような印象（永続性）を表す効果。
ウ：雷などの激しい天候がいつやってくるかわからない緊張感を与える効果。
エ：馬たちがいつでも走り出せる躍動感を与える効果。

問6　「雨は蕭々（しょうしょう）と降っている」とあるが、「蕭々と」とはどのような雨の様子か。最も適切なものを次の中から一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：激しい嵐で横なぐりに降る様子。
イ：ぽつりぽつりと時々降る様子。
ウ：ものさびしく、静かにしとしとと降り続く様子。
エ：今にもやみそうで、晴れ間が見える様子。

© ゆみねこの教科書

問7　詩の最初の部分で、馬の群れの多くは雨に濡れながらどのようなことをしているか。詩の中の言葉を使い、十五字以内で書きなさい。

問8　「それ（噴煙）はけじめもなしにつづいている」とあるが、「けじめもなしに」とはどういうことか。十五字以内で書きなさい。

問9　叙景詩の読解では作者の「視点の移動」が重要である。この詩の視点の移動（カメラワーク）の順序として正しいものを、次の中から一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：近景（手前の馬）→ 遠景（遠くの雨雲と山）→ 近景（草千里浜の馬）
イ：遠景（遠くの雨雲と山）→ 近景（手前の馬）→ 遠景（草千里浜の山）
ウ：近景（手前の馬）のみに焦点が当たっている
エ：遠景（遠くの雨雲と山）のみに焦点が当たっている

問10　結び近くにある「もしも百年が～何の不思議もないだろう」という表現から、作者のどのような思いが読み取れるか。最も適切なものを次の中から一つ選び、〇で囲みなさい。

ア：百年もの長い時間がたつのはあっという間で、人生が短いことへの悲しさ。
イ：自分の小さな力では大自然に決して勝てないという後悔。
ウ：阿蘇の大自然の前では、百年も一瞬のことのように、悠久の時間がゆったりと流れているという深い感動。
エ：大自然の変化があまりにも激しく、自分が百年前から生きているかのような錯覚。

© ゆみねこの教科書

三好達治『大阿蘇』テスト対策練習問題と過去問まとめ（解答）

問1　三好達治

【解説】昭和時代に活躍した代表的な詩人の一人だよ。「みよしたつじ」と読むので、書き間違いに注意しよう。

問2　口語自由詩

【解説】現代の言葉（口語）で書かれ、五・七・五のような文字数の決まりを持たない（自由詩）形式だよ。テストの基本問題なので確実に書けるようにしておこう。

問3　叙景詩

【解説】「叙」は「述べる」「描く」という意味があるよ。景色を中心にありのままに描く詩のことだね。

問4　反復法

【解説】「草をたべている」「雨は降っている」など、同じ言葉を繰り返すことで読者に静かな時間の流れを強く印象づけているね。

問5　イ

【解説】「～ている（動作の継続）」が20回以上も繰り返されることで、時間がゆったりと永遠に止まっているような不思議なスケール感を生み出しているんだ。

問6　ウ

【解説】大自然の中で、荒れ狂う「ざあざあ」という雨ではなく、どこまでも静かに降り続く、もの悲しい雨の音や雰囲気が表現されているね。

© ゆみねこの教科書

問7　草をたべている。

【解説】群れの中でただ静かに黙々と草を食べている、大自然に溶け込んだ馬の姿が中心に描かれているよ。

問8　区別や境目がないということ。

【解説】遠くの中岳の噴煙と、空の雨雲が一つに溶け合って見えている様子を描写しているよ。

問9　ア

【解説】目の前の馬（手前）から、噴煙を上げる中岳（遠く）を見上げ、ふたたび広い草千里浜の馬たち（手前）に戻ってくる。遠くと手前を行き来させることで、阿蘇の大自然の途方もない広大さが強く感じられるような工夫がされているんだね。

問10　ウ

【解説】人間からすれば長い「百年」という時間でも、大自然の中ではただの「一瞬」のことのように思えるほど、永遠の時間が悠然と流れていることに対する感動と畏敬の念が主題になっているよ。

© ゆみねこの教科書